

東京大学空間情報科学研究センター 特任研究員の公募

当センターでは、2019年4月1日から寄附研究部門「不動産情報科学研究部門」が設置された。同研究部門では、不動産に関わる取引、取引価格、不動産利用に関わるマイクロデータを網羅的に整備し、不動産市場の実態をリアルタイムに把握できる統計指標の開発を進めるとともに、人口減少・高齢化の進展に伴い都市内部で発生する不動産に関わる課題を実証的に明らかにしていくことを目的としている。

同研究部門では、上記の研究に参加する特任研究員を募集する。

任期：2022年3月末まで

募集人員：特任研究員 1名

勤務地：東京大学柏キャンパス総合研究棟（千葉県柏市柏の葉5-1-5）

着任予定日：2019年10月1日もしくはそれ以降のなるべく早い時期

勤務内容：

本研究部門に所属して、下記の2つの研究プロジェクトに従事する。また関連した教育を実施する。

- 1) 民間または自治体が保有するビッグデータを用いた空き家の特定： 高齢化が進展する中では、空き家や所有者すら把握できない不動産が増加している。不動産に関わる所有権データは登記簿や固定資産税台帳などに蓄積されてきている。しかし、それらの情報だけでは、空き家であるかどうかの特定はできない。空き家の特定には、自治体が保有する住民基本台帳の個票データや水道栓の閉栓情報、または民間が保有するインフラの契約情報などの活用可能性が考えられる。本研究部門では、このようなビッグデータを活用し、空き家を特定していく手法の開発を行う。
- 2) 住宅価格・家賃に関する指標開発： 民間部門が保有する住宅価格・家賃データを用いて、日本のみならず、主要国の住宅価格・家賃指数の開発を行う。本研究プロジェクトでは、地図情報基盤や交通ネットワークやアメニティに関する情報を用いて、できる限り小街区・建物単位での指数開発を目指す。

応募資格：

空間情報科学に関連する分野の博士号保有者（着任日までに学位取得予定の者を含む）、あるいはそれと同等の活動業績の保有者（外国国籍を含む）。上記の研究テーマに関連する実務経験と研究経験や研究意欲を持つこと。海外の大学での1年を超える滞在経験があ

ることが好ましい。

選考方法：書類審査による。ただし、面接を行うことがある（その場合の旅費は支給しない）。

応募期限：2019年8月16日（必着）。

応募書類（書式自由）：

- (1) 履歴書（電子メールのアドレスを明記すること）
- (2) 研究業績一覧（審査付き論文とそうでないものを分けること）
- (3) 不動産情報科学研究部門の研究内容にどのような貢献が可能かを説明する資料。A4版1枚程度。参考資料等を添付することは可能。
- (4) その他、勤務形態等に関する希望

応募書類は、封筒に「空間情報科学研究センター教員公募書類在中」と朱書きし下記の宛先に郵送すること。あるいは添付ファイルなどの電子的な提出でもよい。その場合には、Subjectを「空間情報科学研究センター教員公募書類」とすること。

電子的な提出の場合の提出先、および問い合わせ先はe-mail（柴崎亮介教授 shiba@csis.u-tokyo.ac.jp）である。

郵送の場合、応募書類送付先：〒277-8568 千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学空間情報科学研究センター センター長宛

その他：採否の決定は個別に連絡することとし、応募書類は原則として返却しません。応募書類は本採用選考の用途に限り使用し、個人情報に正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。空間情報科学研究センターでは、男女共同参画への取り組みとして、女性研究者の積極的登用を行っています。本公募においても、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。また、適任者がいない場合には、採用者ゼロとなるケースもあります。